

製鉄病院 糖尿内科を新設

診療スムーズに



新設した糖尿病内科の掲示板が付け加えられた製鉄記念室蘭病院

症が出た際、詳しい検査を他の科に依頼しやすくなるほか、近隣で日常的に診察する「かかりつけ医」とスムーズに連携できるなどの利点がある。

糖尿病専門医の高田明典・糖尿病内科長(37)は「血糖が高い状態を放置せずに食事や運動を見直せば、合併症や他の病気の予防につながる」と早めの受診を呼び掛ける。(須田幹生)

製鉄記念室蘭病院(室蘭市知利別町1)は本年度から、糖尿病内科を新設し、

糖尿病の診察態勢を強化した。糖尿病専門の医師が対応する科を設けることで、糖尿病を疑う人が病院を訪れて治療や相談を受けやすいようにし、糖尿病に伴う重い合併症の予防にもつな

がると期待される。

西胆振で糖尿病内科を備えているのは、市立室蘭総合病院に次いで2カ所目。同病院ではこれまで、糖尿病患者を循環器内科で診察していたが、どの科で受診すればいいのかが分かりにくかった。糖尿病内科の新設で、目や腎臓に重い合併